

新国立劇場 2014/2015 シーズン ダンス公演

ジャポン・ダンス・プロジェクト JAPON dance project TOKYO 2014

「クラウド／クラウド CLOUD／CROWD」

2014 年 8 月 30 日(土)5:00 / 8 月 31 日(日)3:00 (全 2 回公演)

新国立劇場 中劇場

世界中で活躍する日本人ダンサーが東京の新国立劇場に結集し、新しいコンテンポラリーダンスを創造する。



「ジャポン・ダンス・プロジェクト」は、世界中の舞台上で活躍する日本人ダンサー、遠藤康行、小池ミモザ、青木尚哉、柳本雅寛、児玉北斗の5名が立ち上げました。彼らを中心としながら、ゲストダンサーとして、小嵐健太、堀田千晶、加藤三希央、そして新国立劇場バレエ団のプリンシパルである小野絢子、米沢唯、八幡顕光が参加します。多様なキャリアを持つ個性豊かなダンサー達によるコラボレーションにより、全く新しいコンテンポラリーダンスが誕生します。2014/2015 シーズンダンス公演のオープニングに相応しいエネルギー溢れる新作にご期待ください。

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

©新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 中尾久美子



新国立劇場

TEL : 03-5352-5735 / FAX : 03-5352-5709

◎作品について

海外のカンパニーで活躍中のダンサー、海外のカンパニーで活躍後拠点を日本に移したダンサー、そして日本を拠点として活躍しているダンサー、といった年齢もキャリアもバラエティ豊かなダンサー達が、東京の新国立劇場で新作を創作します。ダンサーとして国際的に高い評価を得ている彼らが東京に集結し、日本人、そして現代を生きる人間として作品を創作・披露します。個性が交差し、どのような化学反応を見せるのか目が離せません。

（小池ミモザのインタビューより）

私は、モナコ公国の芸術研究機関である、Le Logoscope 舞台芸術部門のディレクターを務めているので、その一環としてコンテンポラリーダンスに関するリサーチ、コラボレーション、クリエーション、世代間の交流を行うための「ジャポン・ダンス・プロジェクト」を2013年5月に開始しました。メンバーは私と遠藤康行さん、児玉北斗さん、青木尚哉さん、柳本雅寛さんです。「クラウド／クラウド」公演を目指して連絡を取り合っていますが、その手段はネットです。スカイプで顔を見ながらミーティングしたり、振付を録画して送ったり、ラインで情報を共有したり。私もツアーが多いですが、世界中どこにいても繋がることのできるのは、現代のネット社会ならではかもしれません。けれど、私たちが最も強く繋がっているのは、日本人であることの誇りと、一緒にものを作りたい、という思いです。私は十六年間海外にいますが、メンバーはみな日本で育ち、世界中に出て行って、いろんな振付家の作品を踊り、いろんな生き方をしてきた。互いにリスペクトしている人たちが交差することで作品を作り、その“メイド・イン・ジャパン”を日本へ逆輸入したいと思っています。

「CLOUD／CROWD」の「CLOUD（雲）」は、「日本という浮いている島で、世界中いろんなところへ行きたい」という思いです。「浮いている」というと日本語ではネガティブに聞こえますが、フランス語で言うと、詩のようにすてきな文章になるんですよ。それは、私たちが日本から世界に飛び出して活動していることから、日本の良いところを、学んできたことをそのまま世界中に持って行けたらいいな、という思いです。もう一つの「CROWD（群衆）」については、今、世界中で人口が増えて、ネットで繋がり世界と近くなった気がするけど、隣国で戦争している場合もある。私が日本でショックを受けたのは、あるカフェに入ったとき、とてもきれいなサルスベリの花が咲いているのに見ているのは私だけで、ほかの人はみな携帯を見ていたことです。世界と近くなったけど、みんな自分の居場所をさがしている、といったネット社会の距離感を表せたら面白いと思っています。」

（「The Atre」2014年5月号より抜粋）

◎プロフィール

【ジャポン・ダンス・プロジェクト】 振付・出演



遠藤康行 Yasuyuki Endo

(フランス国立マルセイユ・バレエ)

1991 年スターダンサーズ・バレエ団に入団、数々の作品に主演。1994 年文化庁在外研修員としてオーストラリア・バレエ団に入団。1998 年村松賞を受賞。1999 年ベルギー、シャルルロワ・ダンスに所属、同団すべての作品に出演。勅使河原三郎の公演にゲスト出演。2005 年フランス国立マルセイユ・バレエ団に入団。ソリスト・ダンサー、リハーサル・ディレクター、そして振付家として数々の自作品を同団のレパートリーとして上演している。また、日本では震災復興支援のため、「オールニッポン・バレエ・ガラ」を立ち上げ、被災地のバレエ支援を行っている。2013 年欧州文化首都マルセイユのオープニングセレモニーに振付。



小池ミモザ MIMOZA KOIKE

(モナコ公国モンテカルロ・バレエ)

1998 年よりフランス国立コンセルヴァトワールで学び、首席にて卒業。2001 年スイスのジュネーブ・バレエ入団。2003 年に振付家ジャン・クリストフ・マイヨー率いるモナコ公国モンテカルロ・バレエに移籍し、2005 年最年少でソリスト、2010 年プリンシパルに昇格。豊かな芸術性と抜きん出た技術によってシディ・ラルビ・シェルカウイ、エミオ・グレコ、ヨハン・インガーなどの振付家にも選ばれ、創作に参加した。2007 年から振付も始め、2012 年にはモナコで日本をテーマにした新作を発表。2010 年より、Le Logoscope の舞台芸術部門のディレクションを担当している。



青木尚哉 Naoya Aoki

16 歳でダンスを始める。ジャズダンス、クラシックバレエ、モダンダンスの基礎を学ぶ。加えてボディーワークを学び、身体の構造に対する知を深め、自身のメソッド、「コンタクト×バランス」「ポイントワーク」を開発。ダンサーとして、日本のダンスをリードする振付家に多数起用されている他、教師、振付家としての評価も高い。04 年に設立されたダンスカンパニー Noism の当初のメンバーであり、立ち上げや海外ツアーなどに深く貢献をした。

©平野太呂



撮影：大洞博靖

柳本雅寛 Masahiro Yanagimoto

1998 年にドイツに渡り、ニーダーザクセン州立ブラウンシュバイグにソリストとして入団。2000 年ミュンヘンダンスシアターに移籍。2002 年オランダに移り、スカピーノバレエロッテルダム、2003 年コニーヤンセンダンス、2004 年ガリダンスなど多くの舞踊団に所属し、多彩な振付家達との作品創作に携わり、西欧を中心とした世界各地で踊る。2006 年に日本へ帰国後、大植真太郎・平原慎太郎らと「C/Ompany」として創作活動も展開中。2011 年より自身のユニット +81 を結成。



児玉北斗 Hokuto Kodama

(スウェーデン王立バレエ)

2000 年サンフランシスコバレエスクールに留学。2001 年よりアルバータバレエ(カナダ)、レ・グランバレエ・カナディアン(カナダ)、ヨーテボリバレエ(スウェーデン)で踊った後、現在スウェーデン王立バレエ団ファースト・ソリスト。ヴィム・ヴァンデケーブス、マッツ・エック、ヨハン・インガーなど世界的な振付家の作品に初演キャストとして参加。2013 年にはスウェーデン王立バレエ内のプロジェクト「Royal Collective」を立ち上げ、日本で 2010 年に始まった「project POINT BLANK」では代表として振付け、制作もおこなっている。

【ゲストダンサー】 出演

小野 絢子 Ayako Ono**(新国立劇場バレエ団)**

東京都出身。小林紀子、パトリック・アルモン、牧阿佐美に師事。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所(第3期修了生)を経て、2007年新国立劇場バレエ団ソリストとして入団。入団直後に、ビントレー『アラジン』の主役に抜擢され成功を収めた。『くるみ割り人形』、『白鳥の湖』、『ドン・キホーテ』、『ラ・バヤデール』、ビントレー『カルミナ・ブラーナ』『パゴダの王子』『シルヴィア』、マクミラン『ロメオとジュリエット』『マノン』、アシュトン『シンデレラ』、プティ『コッペリア』『こうもり』、フォーキン『火の鳥』で主役を務めている。2010年スワン新人賞を受賞。2011年プリンシパルに昇格。平成22年度(第61回)芸術選奨文部科学大臣新人賞。第42回舞踊批評家協会新人賞。第30回服部智恵子賞。

米沢 唯 Yui Yonezawa**(新国立劇場バレエ団)**

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオで学ぶ。国内国外の数多くのコンクールに入賞し、2006年に渡米、サンノゼバレエ団に入団した。主な受賞歴は、2004年こうべ全国洋舞コンクールクラシックバレエ部門ジュニアの部第1位、全国舞踊コンクールジュニアの部第1位、ヴァルナ国際バレエコンクールジュニアの部第1位、05年世界バレエ&モダンダンスコンクール第3位、06年USAジャクソン国際バレエコンクールシニアの部第3位など。2010年にソリストとして新国立劇場バレエ団に入団。『白鳥の湖』、『くるみ割り人形』、『ジゼル』、アシュトン『シンデレラ』、ビントレー『パゴダの王子』『シルヴィア』、フォーキン『火の鳥』の主役を務めている。2014年中川鋭之助受賞。

八幡 顕光 Akimitsu Yahata**(新国立劇場バレエ団)**

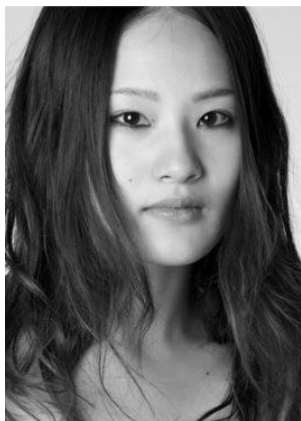
東京都出身。石井清子バレエ研究所にて、石井清子、安達悦子に師事する。2003年新国立劇場バレエ研修所に第2期生として入所。05年にコール・ド・バレエで新国立劇場バレエ団に入団。開幕作品の『カルミナ・ブラーナ』でデヴィッド・ビントレーにより“神学生2”役で抜擢され、翌06年にはソリストに昇進。08年には、ビントレーによる新作の全幕作品『アラジン』で主役のアラジン役に選ばれ、好評を博した。2012年プリンシパルに昇格。第33回ニムラ舞踊賞を受賞。



(c)Joris-Jan Bos

小尻健太 Kenta Kojiri

3歳よりクラシックバレエを始める。1999年、ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル・スカラーシップ賞受賞をきっかけに渡欧。モナコ公国モンテカルロバレエ団にて研修を経て正団員となる。ジョージ・バランシン、ジャン・クリストフ・マイヨー、ウィリアム・フォーサイスなどの作品に出演。2003年よりネザールランド・ダンス・シアター(NDT)に在籍し活躍。イリ・キリアン、マッツ・エック、オハッド・ナハリン、クリスタル・パイトなどヨーロッパのダンス界をリードする振付家の作品を数多く踊る。2006年より創作を始める。2010年、キリアンの退団を理由にNDTを離れ、ダンサー・振付家としてフリーランス活動始める。Noism1(金森穰作品)、新国立劇場(平山素子作品)、出雲大社平成の大遷宮奉祝奉納公演、サドラーズ・ウェルズ劇場(イリ・キリアン作品、シルヴィ・ギエム「6000 Miles Away」)、オランダダンスフェスティバルなど国内外のプロジェクトに参加。振付作品も多数創作している。



堀田千晶 Chiaki Horita

(ヨーテボリ・オペラ・ダンス・カンパニー)

広島県生まれ。8歳からクラシックバレエを池本恵美子に師事、モダンダンスを石原完二に学ぶ。2006年Noismで2年間の研修を経て、2008年からネザールランド・ダンス・シアターIIに在籍。2011年よりヨーテボリ・オペラ・ダンス・カンパニーに所属。



加藤三希央 Mikio Kato

(モナコ公国モンテカルロ・バレエ)

福島県出身。竹内ひとみバレエスクールにて学ぶ。2011年9月よりモナコ王立グレースバレエ学校へ入学。2014年9月よりモナコ公国モンテカルロ・バレエ入団。2010年日本バレエ協会東北支部バレエコンクール ジュニア部 第1位、全日本バレエコンクール ジュニアB部門 第1位、2014年ローザンヌ国際バレエコンクール第6位、など受賞歴多数。

◎公演概要

【タイトル】	JAPON dance project TOKYO 2014 「CLOUD/CROWD」
【スタッフ】	振付・出演：遠藤康行、小池ミモザ、青木尚哉、柳本雅寛、児玉北斗 美術：針生 康 衣裳：宗 明美 照明：足立 恒 舞台監督：森岡肇
【出演】	遠藤康行、小池ミモザ、青木尚哉、柳本雅寛、児玉北斗、小野絢子、米沢 唯 八幡顕光、小尻健太、堀田千晶、加藤三希央
【会場】	新国立劇場 中劇場（京王新線 新宿駅より1 駅、初台駅中央口直結）
【公演日程】	2014 年 8 月 30 日(土)5:00、8 月 31 日(日)3:00
【チケット】	好評発売中
【料金】	S 席:6,480 円 A 席:5,400 円 B 席:4,320 円 C 席:3,240 円

◎チケットのお求め・お問い合わせは

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt>

◎チケット取扱い チケットぴあ、イープラス、CN プレイガイド、ローソンチケット ほか

*Z 席 1,500 円 公演当日朝 10 時よりボックスオフィスで販売。電話予約不可。

*当日学生割引(50%割引)<Z 席を除く> 残席がある場合のみ、公演当日ボックスオフィスとチケットぴあ一部店舗で販売。一人一枚。電話予約不可。要学生証。

*新国立劇場では、高齢者割引(5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています